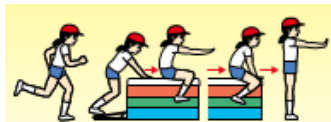
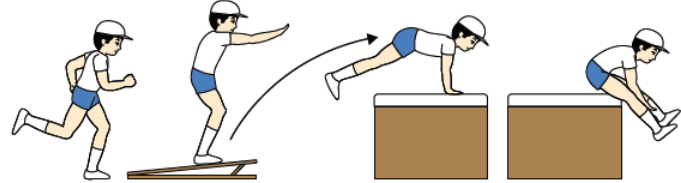


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	【知識及び技能】 跳び箱を使った運動遊びの行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手をついてのまたぎ乗りやまたぎ下りをしたりして遊ぶことができるようにする。 【思考力, 判断力, 表現力等】 跳び箱を使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。 【学びに向かう力, 人間性等】 跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。							
コア技術	① 両足でしっかりと踏み切り、おしりを高く上げている。 ② 腕を跳び箱の奥側につき、押し出すようにして体を上方向に移動させている。							
めあて	技を知り、学習の見通しを持とう。	みんなで何回とべるか数えてみよう。	またぎ乗り, まだぎ下りをしよう。	段差をつけた跳び箱を跳んでみよう。①	段差をつけた跳び箱を跳んでみよう。②	開脚跳びをしよう。	リズムにのって開脚跳びをしよう。	友だちのよいところやがんばったらよくなることを伝えよう。
指導内容	1. 準備運動(加茂小体操) 2. ウサギ跳び→ウサギ跳びから開脚立ち (1) ウサギ跳び 育てる感覚 ➤ 着地をするときは、手を前に出して体を起こすようにすること。 行い方 ① 前方に跳んで両手を着き、体を起こして着地する ② できるようになってきたら、前方に大きく跳んで両手を着き、手を着いた位置よりさらに前方に着地する。 (2) ウサギ跳びから開脚立ち 育てる感覚 ➤ 脚を開いて着地する動作を覚えることで、跳び箱に移行しても安心感を持てるようにする。 3. 馬跳び かかわりあい 補助 ・それぞれの達成度に合わせて馬の高さを変え、どんどん跳べるようにする。 馬の高さは以下のようにする。 ① 1の馬(馬役は肘と膝を付け、できるだけ低い姿勢になる。手足は体の下に入れる。) ② 2の馬(馬役は手を床につき、足も軽く上げて四つん這いになる。) ③ 3の馬(馬役は足首に手を付ける。) ④ 4の馬(馬役は手を膝に着け、高い馬を作る。) 声かけ ・跳ぶ人は「いくよ」 ・馬になっている人は「いいよ」と確認をしてからはじめる。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 馬跳び 3. 2台の跳び箱を使って、支持でまたぎ乗りまたぎ下り ①助走から両足で踏み切り, 跳び箱に両手を着いてまたぎ乗る。 ②またいだ姿勢で腕を支点に体重を移動させ, 最後はまたぎ下りる。  かかわりあい 声かけ ・またいで進んだ回数を数え合う。 ※ 少ない回数で越えられるように励まし合う。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 馬跳び 3. 段差をつけた跳び箱の上でウサギ跳びから着地 踏み切り側の跳び箱を1段 跳び越す側の跳び箱を3段にして, 恐怖心を感じさせないようにする。 ①跳び箱の奥に着手する。 ②顔は前を向きお尻が高く上がるようにする。 ③手をつき放し両足で着地する。 両手を上から下に振り下ろすようにして着手するように意識させる。その際に, 「バン」と音がるように意識させる。 かかわりあい 四人一組になり, 踏み切りが両足で踏み込めているか, 両手同時に跳び箱に着手できているか, マットに引いてあるテープを着地時に超えることが出来ているかを確認してもらう。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 馬跳び 3. 段差をつけた跳び箱の上でウサギ跳びから着地 踏み切り側の跳び箱を2段 跳び越す側の跳び箱を4段にして, 恐怖心を感じさせないようにする。 ① 跳び箱の奥に着手する。 ② 顔は前を向きお尻が高く上がるようにする。 ③ 手をつき放し両足で着地する。  かかわりあい 四人一組になり, 踏み切りが両足で踏み込めているか, 両手同時に跳び箱に着手できているか, マットに引いてあるテープを着地時に超えることが出来ているかを確認してもらう。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. ウサギ跳びから開脚立ち 3. 段差をつけた跳び箱の上でウサギ跳びから着地 4. 開脚跳び ① 1歩助走(いっぽポン!のリズム)で1～2段の跳び箱を跳び越す ② ウサギ跳びから開脚立ちをする。  かかわりあい 四人一組になり, 両足で踏み込めているか, 両手同時に跳び箱に着手できているか, マットに引いてあるテープを着地時に超えることが出来ているかを確認してもらう。 5. 学習のまとめ 6. 振り返り	1. 本時のめあての提示 発表方法の確認 2. レベルに合わせた練習 3. 発表会 V T Rの確認 技の出来映えについて助言し合う。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り		
	指導上の留意点	馬跳びの行い方 ① 馬の背中に両手をしっかりと着き、両足を開いて跳び越すようにする。 ② 慣れてきたら、着地したら素早く向きを変えてタイミングよく跳び越すようにする。 ③ グループで馬の列をつくり、跳び越して後に馬になって繰り返し進むようにする。		コア技術①の習得を意識する 踏み切り(両足でしっかりと踏み切り, おしりを高く上げる。) 跳び箱に苦手意識をもっている児童や恐怖心を感じている児童にとっては左の写真にあるような、収納ボックスにウレタンを巻いた跳び箱やスポンジの跳び箱を準備することで、挑戦しようとする意欲が高まる。	コア技術②の習得を意識する 手をつき放し(腕を跳び箱の奥側につき, 押し出すようにして体を上方向に移動させる。)	児童全員が助走からの一連の流れで技ができることを目指すが、児童の実態に応じて補助をしたり、易しい場で行う配慮をしたりした上で全員が成長を感じて単元を終えたい。		
知		② 観察・ICT					② 観察・ICT	① 観察
思			① 観察					① 観察
態	④ 観察			① 観察・カード	② 観察・カード	③ 観察		

【開脚跳び（跳び箱を使った運動遊び）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 開脚跳びの行い方について，言ったり書いたり実際に動いたりしている。 ② 助走から両足で踏み切り，足を左右に開いて着手し，跳び越えて着地することができる。	① 上手くできたところやできなかったところを，掲示物などの図に目印や色をつけて，自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 友だちのよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友だちに伝えている。	① 開脚前転に進んで取り組もうとしている。 ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。 ③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚跳びの行い方について，言ったり実際に動いたりしている。	・ 開脚跳びの留意点を友達や教師に詳しく伝えたり，カードに書いたりすることができる。
② 助走から両足で踏み切り，足を左右に開いて着手し，跳び越えて着地することができる。	・ 助走から両足で強く踏み切り，腕を上げて上から大きく着手をすることで第一空間を大きくした後突き放しと同時に視線を前に向け体を起こす大きな開脚跳びができる。

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを，掲示物などの図に目印や色をつけて，自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを，掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，よりよくする行い方を見付けている。
② 友だちのよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友達に伝えたり，カードに書いたりしている。	・ 友だちのよい動きの特徴を，擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり，カードに書いたりしている。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚跳びに進んで取り組もうとしている。	・ 開脚跳びへの習得に向け多様な行い方を進んで試している。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく，グループの友達を励ましたり，応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく，周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の２点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。